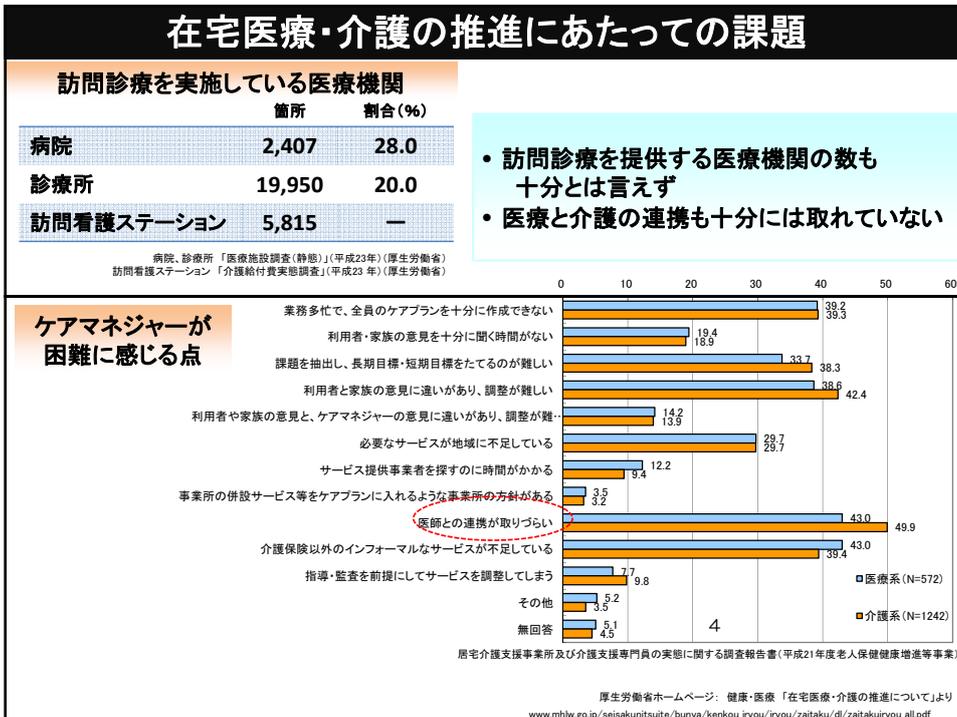


7

# 在宅医療推進のための多職種協働



## 多職種協働の 米国老年医学会の立場表明

1. 複雑な併存症をもつ高齢者の多様なニーズに対応
2. 老年症候群の医療の過程と結果を改善
3. 医療システムを改善し、介護者の負担を軽減
4. 多職種協働研修・教育は高齢者ケアに有効

多職種が一堂に会して研修する際の障壁

職種間の亀裂

立場・文化の伝統の差異

**特集**

SPECIAL ARTICLE

米国老年医学会誌 54: 849-52, 2006

Interdisciplinary Care for Older Adults with Complex Needs:  
American Geriatrics Society Position Statement

Geriatrics Interdisciplinary Advisory Group

「米国老年医学会による複雑な医療ニーズをもつ高齢者のための多職種協働ケアに関する立場宣言」

EDUCATION AND TRAINING

**教育・研修**

Disciplinary Split: A Threat to Geriatrics Interdisciplinary Team Training 「職種間の壁: 高齢者のための多職種チーム医療研修の障害」

アメリカでの多職種連携教育の例  
米国老年医学会誌 52: 1000-6, 2004

## ビデオ教材 多職種協働・連携によるケア・カンファレンス 訪問診療・同行研修



多職種協働カンファレンスの方法、あり方について、理想的な例 / 問題を残す例  
DVD視聴後、グループ・ディスカッション

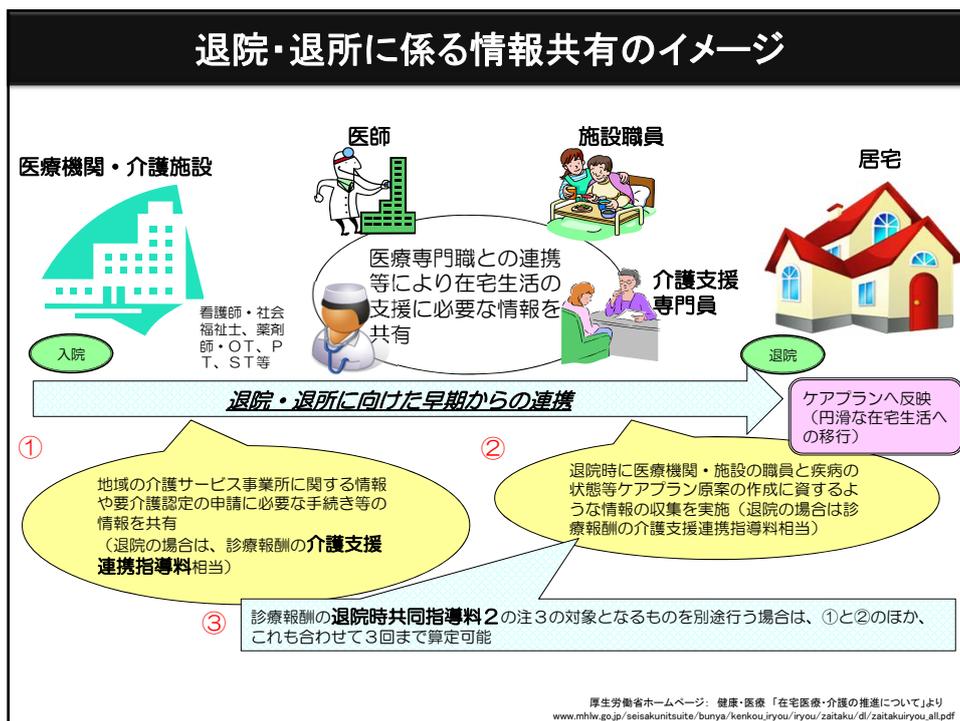


多職種協働や連携が図れている場合



指導医の訪問診療に、研修者が同行し、在宅医療の現場で学ぶ姿を映像化視聴覚教材の有用性  
患者さん宅で学ぶ  
クリニック(外来) → 患者さん宅  
アウェー → ホーム

国立長寿医療研究センター在宅連携医療部ホームページ  
<http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/jinzaikusei.html>よりダウンロード可能

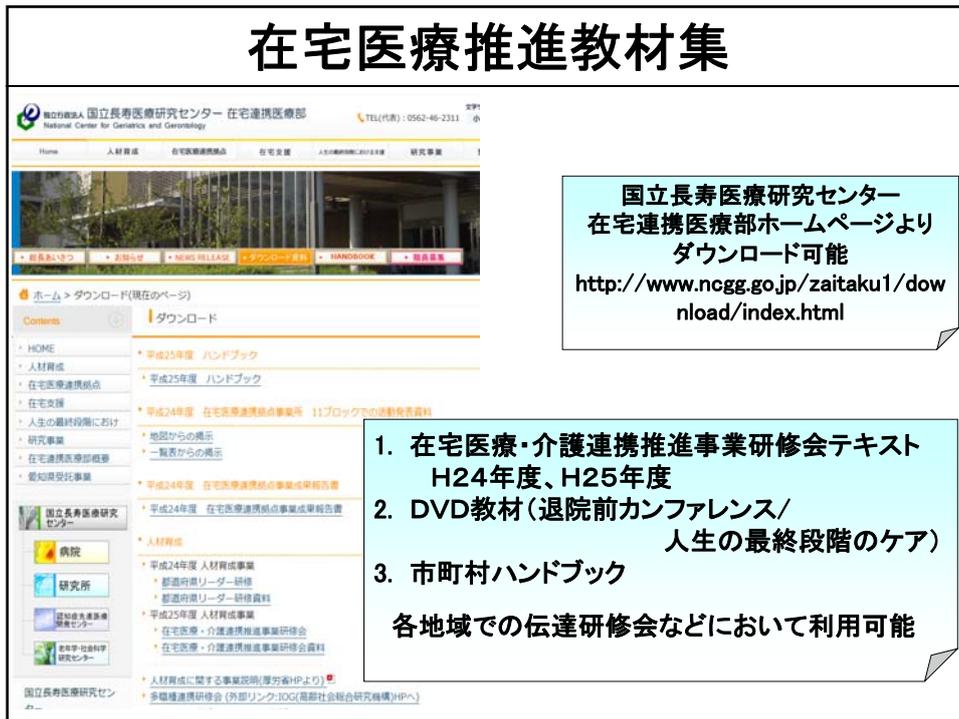


# 8

## 在宅医療推進研修教材

### ・市町村ハンドブック

# 在宅医療推進教材集



国立長寿医療研究センター  
在宅連携医療部ホームページより  
ダウンロード可能  
<http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/download/index.html>

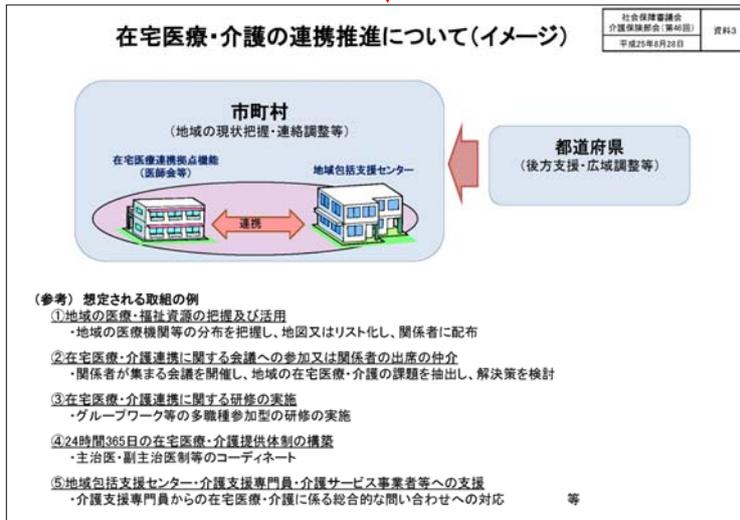
1. 在宅医療・介護連携推進事業研修会テキスト H24年度、H25年度
2. DVD教材(退院前カンファレンス/ 人生の最終段階のケア)
3. 市町村ハンドブック

各地域での伝達研修会などにおいて利用可能

## 市町村ハンドブックの目的

平成24年度の在宅医療連携拠点事業で蓄積された知見やノウハウを提供

在宅医療・介護の連携推進について(イメージ)



社会保険審議会  
介護保険部会(第44回)  
平成25年6月28日 資料3

(参考) 想定される取組の例

- ①地域の医療・福祉資源の把握及び活用  
・地域の医療機関等の分布を把握し、地図又はリスト化し、関係者に配布
- ②在宅医療・介護連携に関する会議への参加又は関係者の出席の仲介  
・関係者が集まる会議を開催し、地域の在宅医療・介護の課題を抽出し、解決策を検討
- ③在宅医療・介護連携に関する研修の実施  
・グループワーク等の多職種参加型の研修の実施
- ④24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築  
・主治医・副主治医制等のコーディネート
- ⑤地域包括支援センター・介護支援専門員・介護サービス事業者等への支援  
・介護支援専門員からの在宅医療・介護に係る総合的な問い合わせへの対応

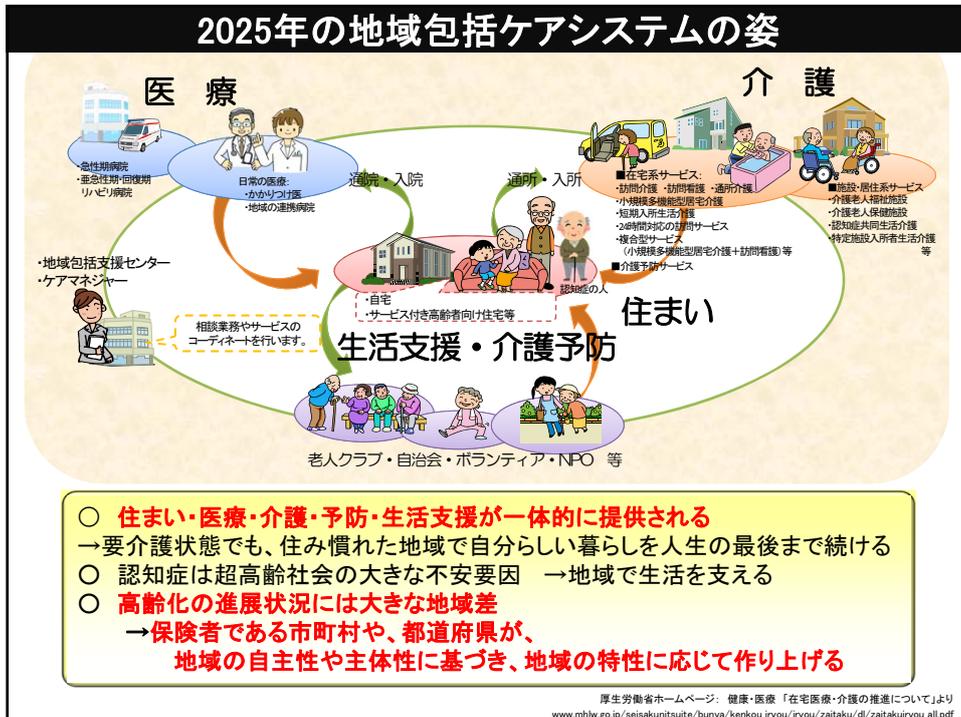
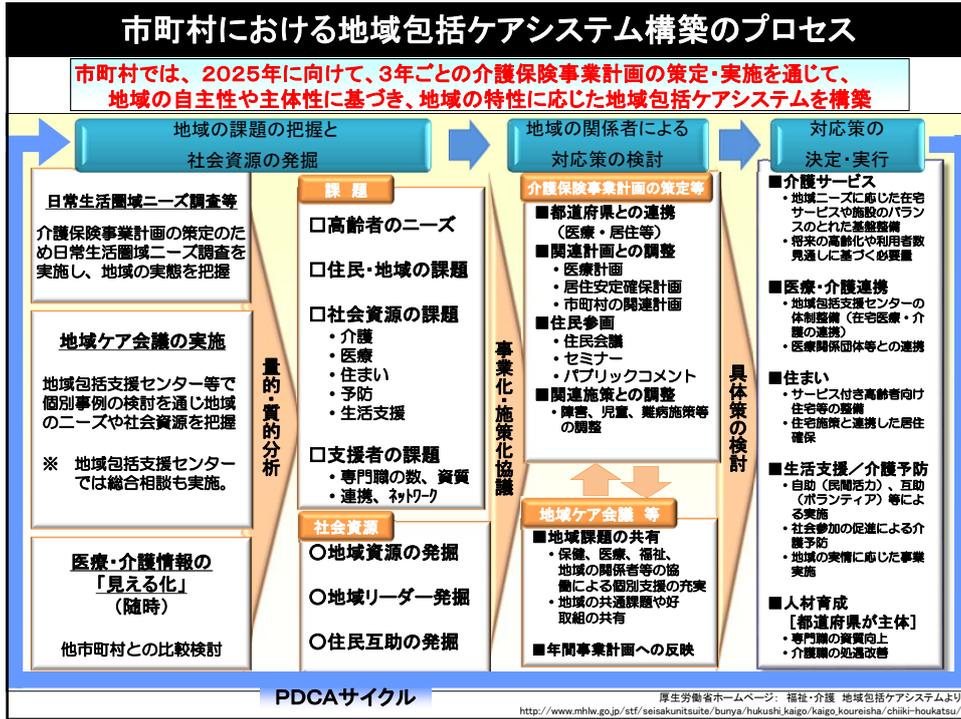
## 「市町村ハンドブック」

市町村の役割について、その意義と手順を解説

1. 医療・福祉ニーズの把握と資源の把握・活用
2. 地域ケア会議の運営
3. 人材育成
4. 地域包括支援センターや介護支援専門員(ケアマネジャー)の支援・協働
5. 医療・介護の連携の推進
6. 24時間365日の医療・介護提供体制の支援
7. 郡市医師会との協働
8. 効率的な医療・介護情報共有システムの構築
9. 地域住民への在宅医療普及・啓発

## おわりに

2025年地域包括ケアシステム  
の構築に向けて



## 在宅医療推進における最新の知見

### まとめ

- 高齢者の自立と尊厳のための在宅医療・介護
- 行政は在宅医療・介護連携の調整役
- 地域包括ケアシステムの5+1要素  
医療、介護、予防、生活支援、住まい + 本人・家族
- 地域ケア会議で、課題抽出→解決のPDCAサイクル
- 医療・介護総合確保推進法で持続可能な社会保障
- 在宅医療・介護推進のための多職種協働とその研修